

あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第26号

2011年7月19日発行

*** 目次 ***

- 1. 新会長挨拶
- 2. 第8回定期総会について
- 3. 新役員紹介
- 4. あびこ農産物直売所4周年を迎えて
- 5. 米粉パン教室開催
- 6. 第8期援農ボランティア養成講座について
- 7. 今後の行事予定
- 8. 故秋保武会長を偲んで
- 9. 編集後記



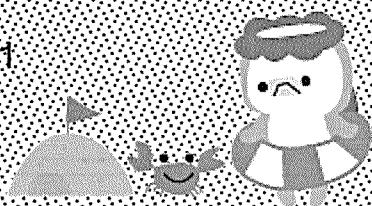
発行：あびこ型「地産地消」推進協議会 会長 米澤 外喜夫

住所：270-1155 我孫子市我孫子新田 22-4

Tel 04-7128-7770 Fax 04-7128-7771

E-mail: abikochisanchisyokyo@sky.plala.or.jp

URL <http://www.15.plala.or.jp/chisan/>



1. 新会長挨拶

会長就任にあたって

米澤 外喜夫

去る5月25日、第8期総会で会長に選任を頂きました米澤外喜夫です。

4月に秋保前会長が急逝され、心の準備もなく、会長職に選任され、戸惑った次第ですが、新執行部ともども頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、当協議会が設立されてから9年たちました。安全・安心、新鮮な農産物の「地産地消」を推進することを基本にして、エコ農産物の普及促進、食育を目的にした農家と市民との交流、援農ボランティア活動、学校給食支援、新規就農者の側面支援など、活動の幅が広がってきており、これも会員各位のご尽力の賜物と感謝する次第です。

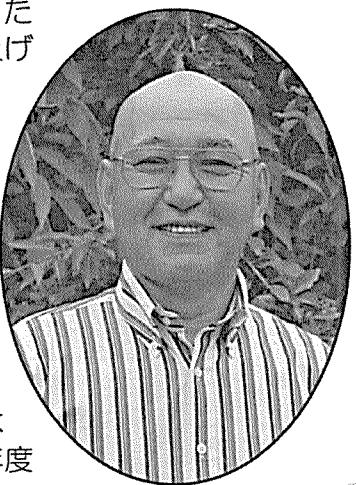
近年の活動を振り返って感じることは、援農ボランティアの年間3千件に及ぶ活動実績などをみて、「地産」の部分においては、その目的が概ね達せられ、支援・受入体制も充実した感がありますが、一方の「地消」の部分においては、いまだ道半ばの思いがいたします。そんな中で、今年10月には農産物直売所の公設民営が本格的に取り組まれることになりました。更に昨年度より、市内の小・中学校の全校で、月一度の「地元野菜の日」が取り入れられていますが、その充実と支援体制の確立が待たれます。

まさに今年度より「地消」の充実に向けた元年として、大きく取り組むべき課題がはっきりしてきたと思います。

これからは会員の皆様、市民・消費者の皆様方からご意見をいただきながらステップアップして協議会を盛り上げ、結果として、地域社会の発展にもお役に立てれば、と考えております。

今後とも会員各位のご支援とご協力をよろしくお願ひ申しあげます。

平成23年6月



2. 第8回定期総会について

副会長 三宅 輝夫

あびこ型「地産地消」推進協議会の第8回定期総会が、5月25日(水)のエスパ3階にある市民プラザで開催されました。開会に先立ち、4月下旬に逝去された故秋保前会長のご冥福を祈って黙祷した後、天谷会長代行・副会長が議長席に就き、議事が進められました。総会の内容は以下の通りです。

(1) I部 総会 午後1時30分～3時00分

①総会の成立

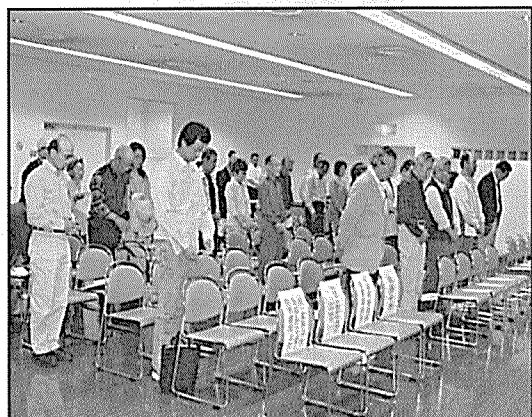
- 会員数 165名のうち出席 54名、委任状提出 62名、合計 116名により会則第13条の開催要件を満たしている事を確認。

②議案

- 第1号議案 平成22年度活動報告について
- 第2号議案 平成22年度収支決算報告について
- 第3号議案 平成23年度活動計画案について
- 第4号議案 平成23年度収支予算案について
- 第5号議案 新役員の選出について

③質疑応答

- 一部会員より「市役所負担金」の由来に関する質問があり、当協議会の初代会長であった遠藤さんが出席されており、発足時の状況について経過を説明して貰いました。



[次葉へ]

[前葉より]

④議決状況

- ・前年の22年度事業活動報告と決算内容は、会計監査報告も含めて異議はなく、拍手による賛成多数により承認されました。また、23年度事業活動計画案と予算案も賛成多数により可決承認されました。
- ・米澤外喜夫新会長以下の役員人事案が拍手多数で承認され、一同を代表して米澤さんが力強く挨拶して、予定の全案件が滞りなく議了されました。



(2) II部 会員懇話会 午後3時15分～5時00分

①意見交換（テーマ：「地産地消」の発展について）

②試食（地元農産物を使った料理：米粉パン）

故秋保前会長の発案による「地産地消」についてのフリー・トークで、参加者全員で出荷組合加工部会の大炊三枝子さん達が愛情を込めて作った食感もっちりの「米粉パン」を味わいながら、会員農家の中野栄さんや鈴木順一さんの語るコメ作りやトマト栽培の蘊蓄と夢に聞き入り、また食べる側からも幾つか願望が話されました。



[次様へ]

暑さ対策と水分補給を十分に行ない、熱中症に気をつけましょう。

[前葉より]

③会員特技披露（落語&ギター演奏）

そして、援農ボランティア第7期生（援農体験）の高木宏樹さんが小話と落語「青菜」を熱演し、同じく7期生の田口 賢さんが友人の鎌倉さんと共にギターとピアノの音色を楽しめてくれました。

総会終了後の慰労の場には、星野我孫子市長も参加され、液状化地域の復興や放射能の風評被害対策での奮闘振りを伺いました。



(4)協議会役員及び実行委員名簿（敬称略）

役 員 名	氏 名	実 行 委 員		
会長	米澤 外喜夫			
副会長	中野 栄			
副会長	三宅 輝夫			
副会長	徳本 博文			
総務担当	増田 浩四郎			
総務担当	岩田 公夫			
会計	飯泉 章			
工コ農産物普及推進部会長	鈴木 順一	吉田 和子		
販路拡大・食育交流部会長	古川 鉄夫	高木 博之	松岡 美佐子	玉造 美枝
		古川 恵子(コガワケイ子)		村山 勉
		八澤 静江		
援農ボランティア部会長	宮本 豊	坂西 貢	射落 英一	白澤 幸雄
		植木 康雄		
学校給食支援部会長	須藤 一宏	山田 豊	宮本 豊	坂西 貢
		井川 進	山原 裕吉	村山 勉
広報部会長	天谷 幸生	平野 善史	川田 悅代	田辺 裕子
総務部会長	石原 克人	田口 賢		
会計監事	吉田 三千彦			
	飯田 寿昭			
事務局	伊吹 宏			

3. 新役員紹介

新任の役員の方を紹介致します。

石原総務部会長

①プロフィール

はじめまして。今年3月から新規就農者として農業に従事させて頂いています。協議会には今年4月に入会させて頂きました。わからないことばかりですが宜しくお願ひ致します。定年退職を機に農業をするべく1年余、農家で実習をさせて頂きました。

②抱負

定年までは機械関係の仕事をしており、この知識を役立てるべき機会を見つけています。生産計画(CAD・Excelの使用)、生産管理(まだこの部分の経験がないので、データをどんどん蓄えていきたい)、品質管理(これもまだ経験不足)。これらのデータをどんどん蓄えて、精密な資料を作りたいと思っています。また、PDCAをしっかりとやっていきたいと思っています。Plan(計画) → Do(実行) → Check(評価) → Act(改善)



[※原稿の都合で文字の大きさを小さくしています。]

須藤学校給食支援部会長

①プロフィール

はじめまして。今年4月に入会したばかりで、まだ、わからないことばかりですが宜しくお願ひ致します。学校を卒業後5年間、会社勤めをし、その後、家業の農業に加わり、現在は、米と露地野菜中心に出荷を行なっております。もう一度、買いたいと言って頂けるような農産物を作るべく日々努力しております。

②抱負

古川前部会長の取り組みを継承して、地場産の野菜ができるだけ多く、我孫子の子供達に味わってもらえるように諸先輩の力を借りて、進めて参りたいと思っております。

どうぞ宜しくお願ひ致します。

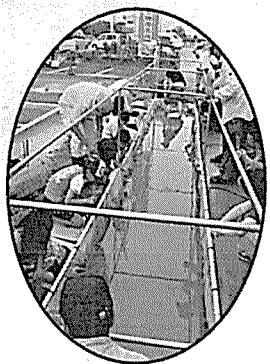
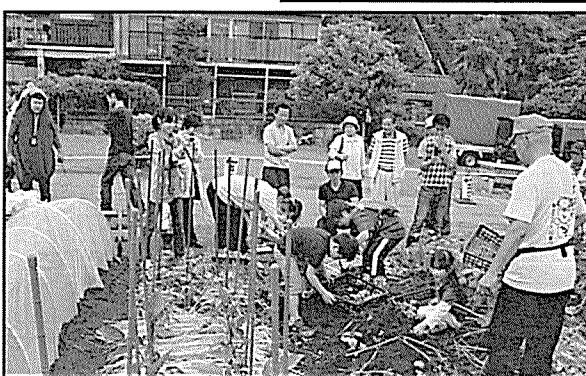


4. あびこ農産物直売所 4周年を迎えて

4周年記念イベントについて

今回の4周年記念イベントでは、震災の影響で深刻な問題となっている風評被害に対して、当直売所でも協力ができないかと考え、福島県いわき市に出荷組合長が自ら出向き、風評被害の煽りをうけている事情を把握し、たくさんの農産物を仕入れ買い取りをしてきました。イベントでは、福島県産特設テント販売コーナーを設け「風評被害に打ち勝とう」と題し、福島県産農産物の安心・安全をPR販売をいたしました。その他にも、地元野菜の品評会、おにぎりコンテスト、大根おろし競争、田植え体験、じゃがいも掘り体験など、とても内容の濃い4周年記念イベントになりました。これからも消費者の皆様に愛されづけられるよう、「安心・安全・新鮮」なものを正直に、これからも皆様にお届けしたいと思っております。

あびこ農産物直売所店長 斎藤 寿義



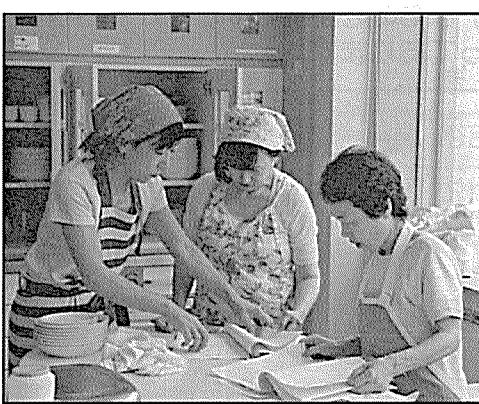
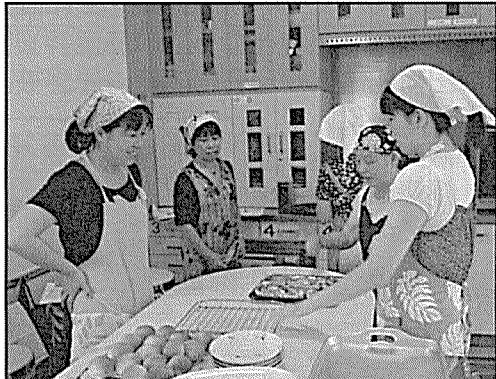
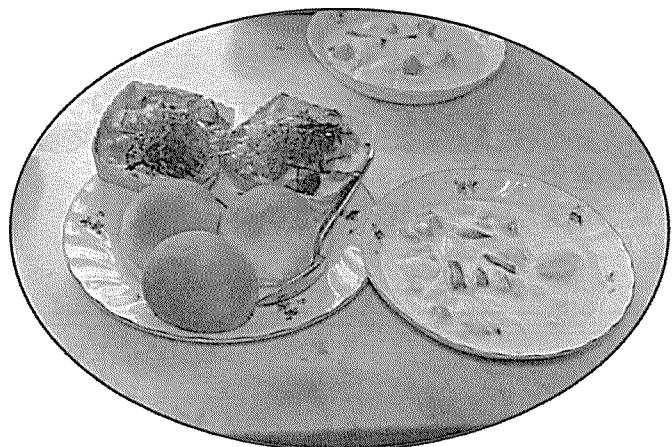
5. 米粉パン教室開催

販路拡大・食育交流部会 玉造 美枝

6月23日(木)午前10時からアピスタの調理室で販路拡大・食育交流部会が主催する米粉料理教室が開催されました。「広報あびこ」で募集案内を掲載したところ、その日のうちに募集人数の20名がその日のうちに満員になるという人気の高い料理教室です。当日の講師は山中京子先生で、協議会のスタッフ・お手伝い6名の方が加わりました。受講生の20名は6班に分かれて、米粉を使った丸パン、ピザ、クリームシチューの3種類の調理を実習しました。各グループとも初対面の方が多い中、山中先生とスタッフの好リードで、実習は和気あいあい、順調に進みました。

開始から約2時間、部屋中に、いい匂いがたちこめる頃、ちょうどお昼になり、皆さん、テーブルを囲み、なごやかに試食をしました。パンは「もっちり」と、ピザは「ふっくら」と、シチューは「まろやか」と、見た目も味もよく、どれも好評でした。

受講生の皆さんはそれぞれのお土産として自宅に持ち帰りました。参加された20名全員の方が参加者アンケートで「良かった」と評価して頂きました。また、「次回参加する際に作りたいものは?」との質問には「米粉を使ったスイーツ」とのことでした。



6. 第8期援農ボランティア講座について

援農ボランティア部会 宮本 豊

今年も下記の日程で援農ボランティア養成講座を開催致します。

- (1)定員 15名
- (2)募集期間 7月19日(火)～7月29日(金)
- (3)講座内容

月 日	時間帯	内 容	会 場 等
9月10日(土)	13:30～16:00	開講式・概要説明	市役所 分館
		講 演	
9月17日(土)	13:00～16:30	農作業実習（6回） (農家の畑や施設で、 種まき・定植・除草 など) ※実習は4回以上の出席が修了の要件	市 内 農 家
9月24日(土)			
10月 1日 (土)			
10月 8日 (土)			
10月15日(土)			
10月22日(土)	10:00～12:00	閉講式・修了証書授与	市役所 分館
10月29日(土)			

7. 今後の行事予定

今後の行事予定は以下の通りです。詳細は事務局より別途案内があります。また、スタッフ等の応援要請もありますので宜しくお願ひ致します。

日 付	行 事 内 容	主 催 部 会
7月23日(土)	採って食べよう枝豆（杉浦農園）	販路拡大・食育交流
7月30日(土)	朝どり新鮮野菜市（於：つくし野夏祭り）	販路拡大・食育交流
7月30日(土)	援農ボランティア情報交換会	援農ボランティア
8月27日(土)	朝どり新鮮野菜市（於：カッパ祭り、けやきプラザ広場）	販路拡大・食育交流
9月末定	新米フェア	農産物直売所
9月10日(土)	第8期援農ボランティア養成講座 開講式	援農ボランティア
10月28日(金)	大根丸ごと料理教室（湖北公民館）	販路拡大・食育交流
10月29日(土)	第8期援農ボランティア養成講座 修了式	援農ボランティア
10月末定	農業祭り	農産物直売所
11月 5日(土)	採って食べよう里芋（芋煮会） 古川農園他	販路拡大・食育交流
12月末定	漬物教室（直売所特設テント）	販路拡大・食育交流
12月末定	忘年情報交換会	援農ボランティア
1月 14日(土)	ちびっ子餅つき大会	協議会
2月末定	味噌作り教室（直売所特設テント）	販路拡大・食育交流
2月末定	消費生活展(テーマ:大震災日の時頼れる「地産地消」)	広報、工コ農産物普及

8. 故秋保 武会長を偲んで

広報部会長 天谷幸生

第8回定期総会のほぼ1カ月前、4月23日、当協議会会長の秋保 武氏が急逝されました。氏は2年間、援農ボランティア部会の部会長として現在の部会活動の基盤を創られたのち、初代の遠藤織太郎氏より協議会会長を引き継ぎ、第2代目あびこ型「地産地消」推進協議会会長として業務に邁進されました。その「地産地消」にかける情熱とお人柄により会員の皆さんより敬愛され、当協議会の理念であります「農家、消費者、市民、市役所等の連携・協働」の中心となる存在でした。

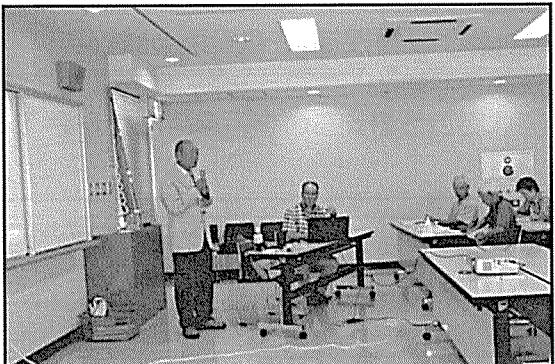
氏の急逝は誠に残念なことであります。ここに故秋保氏の協議会活動へのご尽力に深謝するとともに協議会会員の皆様とともにご冥福をお祈りすることと致したいと存じます。

[故秋保 武氏の当「地産地消」推進協議会における足跡]

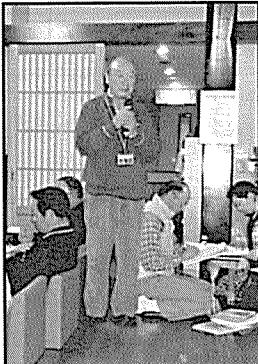
平成17年10月 第2期援農ボランティア
養成講座を受講し、協議会に入会
平成19年 5月 援農ボランティア部会長就任
平成21年 5月 当「地産地消」推進協議会会长就任



葬儀の模様



長寿大学での当協議会の紹介



昨年末の懇親会



今年のちびっ子餅つき大会

9. 編集後記

広報部会 平野 善史

3月11日の東日本大震災から早いもので四ヶ月が経過しました。幸いにも我孫子市は被災地ということで災害救助法の適用を受けることとなり、7月1日よりの東京電力の計画停電のグループから除外されました。この夏の間に、電力需給の逼迫により大規模停電回避のための計画停電が実施されても、原則として我孫子市は対象外とのことです。しかし、そうは云っても普段に増した節電努力は必要です。こまめにスイッチのオン・オフを行い、各人が節電を心掛けましょう。

また、猛暑日や蒸し暑い日には、過度の節電をするのではなく、熱中症対策としてエアコン等は遠慮しないで点けましょう。但し、温度設定は普段より高めに設定しましょう。

私達は戦後の繁栄の中で、スイッチを入れれば電気がつき、蛇口を捻れば水が出るという快適な生活を過すことが出来ました。被災地の中には、震災から四ヶ月経過しても、未だに電気やガス、水道が復旧していないところもあります。被災された方々のことを思いながら、私たちにとって何が「最適」かを、再考する機会ではないでしょうか。

